

■ 喜捨

【喜捨の心得】

5 金銭を『神』に捧げるといふ事は、労働の対価を捧げる事なので、その人の働いた時間分を奉仕した事になります。

‘喜捨’したお金は、『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くためにお使い下さい。

‘喜捨’させて戴いて、ありがとうございます。”と感謝して、忘れましょう！

また、強い霊障に遭っている方が自分や家族の名前で御奉納を続けていると、恨んで憑いている方から見たら、“自分達だけ救われようとしやがって、許さん！”と、益々強く障ってきますから、例2・例3・例4、を優先して、自分の金額は少なくして、回数は1/3程度にしましょう。

霊障の元である障っている方々のお名前で‘喜捨’させていただく時には、この方々に誠心誠意なお詫びをして、『神』に、この方々の救われを祈って御奉納しましょう。

15

【喜捨の御奉納方法】

‘喜捨’を行うには、3通りあります。

- 20 ・ 直接『真理＝神理』の研究会の道場に参拝して喜捨をさせて頂く方法。
- ・ 自宅で書いて、郵送等で『真理＝神理』の研究会に送る方法。
- ・ Fax かメールで‘喜捨’の内容を書いて『真理＝神理』の研究会宛に送信して、金融機関から送金する方法もあります。

25 ‘喜捨’を行う時は、記入後に声に出して読み上げて、『神』に祈りましょう。

“対象の方に尊き神光を賜りますようお願い申し上げます。そして、『神』の御用にお使い賜れますようお願い申し上げます。”と祈りましょう。

30 【喜捨の具体的な内容の例】

『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くためにお使い頂きたい場合（例1）

障っている方のお名前で‘喜捨’する場合（例2・3・4）

35 重病の方の平癒を祈って‘喜捨’する場合は、多額を一回だけ御奉納するよりも、小額でも良いですから定期的に何回も御奉納する方が効果があります。

喜捨は書かせて頂くだけでも、『神』に通じて大きなご守護がありますから、どんなに症状の悪い病人でも、喜捨と祈りを何回か繰り返していくと、恨みの心で障っている方に届きますので、障っている方は攻撃の手を休めますから、症状が好転してきます。

40 その後に、霊を諭せる力を持っている方が諭すと、障っている霊が救われて、病気が平癒します。

ただし、この方法の‘喜捨’は、本人か家族が行うのは良いのですが、本人か家族の依頼を受けない他人が行なってははいけません。

他人の救われを願って御奉納する場合（例5）

他人を、“『神の子』として、『神』の御用にお使い戴けますよう『真理＝神理』を学ぶ機会をお与え下さい。”と、祈って‘喜捨’させて戴く事は、『神』のお気に召す行為ですから、祈る方の霊格も高まります。

5 他人の幸せは進んで祈らせて頂きましょう。

お世話になった方が亡くなった時や、誰かに自分が被害を与えてしまった時に、その方の救われを願って‘喜捨’を行う場合は、願う内容を具体的に記入しましょう。

お世話になった方へ感謝の気持ちを込めて（例6）

10 お世話になった方へお礼の気持ちで捧げる場合には、お世話になった方の名前を書きます。同時に、お世話になった方のご先祖様や家族にも感謝を込めて御奉納させて頂きましょう。

※勉強会に参加される場合の効果的な‘喜捨’のタイミングについて

15 勉強会に参加される時に喜捨する場合は、帰り際よりも、勉強会開始までに御奉納した方が効果的です。

喜捨を行うと、その対象の方が、その時から勉強会への参加が許されるため、一緒に学ぶことができますので、救われも早いのです。

また、複数の内容で喜捨する場合は、事前にレポート用紙等に内容・日付・御奉納者・金額を一覧にして記入しておき、会場にて、その紙と合計金額を封筒に入れて喜捨することもできます。

封筒に入れる喜捨の内容の一覧は、縦書きでも横書きでもどちらでも結構です。

封筒には、表面の“喜捨”の文字の下に“明細在中”と記入して、裏面は図2を参考にし、日付・御奉納者・合計金額を記入して下さい。

25

【喜捨を御奉納する場合の書き方】

例1) 『真理』神理』を世界に遍く弘めさせて戴くためにお使い下さい

5 例2) 個人にだけ障っている時

山田太郎に障っている方一同 ※山田太郎の部分を障られている方のお名前に入れ替えましょう

山田太郎に胃癌を作っている方一同 ※山田太郎と胃癌を適宜入れ替えましょう

例3) 祖父母、両親、自分のように、代々に強い障りがある場合 ※○○を障られている方の名字に入れ替えましょう

10 ○○家の先祖家族を恨んでいる方一同

○○家の先祖家族が過去世に於いて非道い目に遇わせてきた方一同

特に重傷・重篤な時には、右記の両方のお名前【喜捨】を御奉納すると良いでしょう。

例4) ご自分なりに、申し訳が無いという心を込めて、左記を参考にして、適宜応用してお書き下さい。

個人名だけでなく、組織名、団体名、施設名等でもよろしい。

山田太郎の心臓に障っている方一同 山田花子の腰に憑いている方一同

山田花子の水子の霊一同 山田花子の○○の具合を悪くしている方一同

山田太郎の仕事に障っている方一同

山田太郎が前世に非道い目に遇わせてしまった方一同

山田太郎が羨ましくて障っている方一同

○○家の先祖家族が羨ましくて障っている方一同

○○家の先祖家族を恨んで障っている方一同

○○家の先祖に一家皆殺しにされて恨んでいる方一同

○○家の先祖に非道い目に遇わされて恨んで障っている方一同

山田太郎家の敷地内の地縛の霊一同

株式会社○○○の工場敷地内の地縛の霊一同

〇〇〇会館の敷地内の地縛の霊一同

例5) 他人の救われを願って

〇〇の犠牲者一同

5 〇〇の魂を安らかにお導き下さい ※お世話になった方が亡くなった場合等

山田太郎が怪我をさせた〇〇さんが早く退院できまようお願い申し上げます ※交通事故の場合等

例6) お世話になっている方々へ、感謝の気持ちを込めて

株式会社〇〇〇〇の社長役員及び従業員の家
の先祖家族一同

10 株式会社〇〇〇〇の取引先の家
の先祖家族一同

株式会社〇〇〇〇のお客様の家の先祖家族一同

社長役員や、先祖家族と書く場合には、横に並べて書きます。

この場合、立場が上の方を敬うために、少し段差を付けます。

立場が上の方を向かって右側に書きましょう。

15 自分のご先祖様に感謝する場合には名字だけで良いですが、他人に感謝する場合には、相手の名前をフルネームで記入します。

山田太郎さんが、自分のご先祖様にご守護を感謝する場合

山田家の先祖家族一同

山田太郎さんが、鈴木一郎さんに対して感謝の気持ちを込めて喜捨する場合

鈴木一郎家の先祖家族一同

書き方のポイント

25 会社名が長い場合など、文章の長さに応じて、二行、三行と分けて、全体のバランスに注意して書きましょう。

裏面には、日付、差出人の名前、御奉納金額を記載します。

祈り同様に、なるべく刻銘に記入しましょう。

また、喜捨する時の思いや心構えが、とても重要になります。

例1) ~例5) に使用する喜捨の用紙

5

10

喜捨させていただきます。

喜捨 山田 太郎 先祖 家が過去において
 喜捨 山田 花子 家族 酷い目に遇わせた方々一同 〇〇〇〇円

喜捨 山田 太郎 先祖 家を恨んで障っている方々一同 〇〇〇〇円

喜捨 山田 花子 先祖 家を恨んで障っている方々一同 〇〇〇〇円

喜捨 山田 太郎 先祖 家を恨んで障っている方々一同 〇〇〇〇円

喜捨 山田 太郎 先祖 家を恨んで障っている方々一同 〇〇〇〇円

喜捨 山田 太郎 先祖 家を恨んで障っている方々一同 〇〇〇〇円

喜捨 山田 花子の〇〇の具合を悪くしている方一同 〇〇〇〇円

平成二十年 〇月 〇日
 合計金額 〇〇〇〇円
 氏名 山田 太郎

15

例6) に使用する喜捨の用紙

20

25

喜捨させていただきます。

喜捨 山田 太郎 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

喜捨 鈴木 一郎 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

喜捨 株式会社〇〇の社長役員及び
 従業員 の家の先祖家族一同 〇〇〇〇円

喜捨 株式会社〇〇の取引先の株式会社〇〇の担当者
 田中 花子 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

喜捨 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

喜捨 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

喜捨 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

平成二十年 〇月 〇日
 合計金額 〇〇〇〇円
 氏名 御奉納者の氏名

30

※仲が悪い2人を仲良くさせる目的の喜捨

35

40

喜捨させていただきます。

喜捨 山田 太郎 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

喜捨 川崎 花子 さんのご先祖様方一同 〇〇〇〇円

氏名 山田 太郎

氏名 川崎 花子

平成二十年 〇月 〇日
 どうぞ宜しくお願い申し上げます。
 合計金額 〇〇〇〇円
 代理 御奉納者の氏名

45